

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年3月31日
研究・研修課題名	腎臓病療養指導士の更新のための学会参加と、新規認定取得のための講習会参加と認定試験受験
研究・研修組織名(所属)	島根大学医学部附属病院・薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	望月 優里(薬剤部)
研究・研修実施者名(所属)	望月 優里、後藤 貴樹、北郷 真史(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	望月 優里、後藤 貴樹、北郷 真史(薬剤部)
学会名(会期・場所)、認定名等	認定名：腎臓病療養指導士 会名：腎臓病療養指導士認定のための講習会 会期：2020年6月1日～6月15日(オンライン配信) 会名：第14回日本腎臓病薬物療法学会・学術総会2020 会期：2020年12月14日～12月20日(Web開催) 会名：第63回日本腎臓学会学術総会 会期：2020年8月19日～8月21日(現地およびWeb開催) 会名：第50回日本腎臓学会東部学術大会 会期：2020年9月26日～9月27日(Web開催)
演題名・認証交付元等	日本腎臓病協会、日本腎臓病薬物療法学会、日本腎臓学会
取得日・認定期間等	北郷 真史：認定日2018年4月1日、認定期間 5年間 後藤 貴樹：認定日2018年4月1日、認定期間 5年間
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

腎臓病療養指導士は、職種横断的な慢性腎臓病(CKD)療養指導に関する基本知識を有する者を育てるための資格であり、対象は、看護師・保健師、管理栄養士、薬剤師である。当院薬剤部では各病棟へ薬剤師を配置し、CKD患者や腎機能低下患者への薬物治療に貢献できる体制を構築しているが、腎臓病療養指導士の育成にも取り組んでおり、島根県内における薬剤師の腎臓病療養指導士は、全て当院の薬剤師である。有資格者の資格維持を目的として、要件である学術集会に参加すると共に、有資格者を増やすことを目的として、講習会参加による単位取得を行い、研鑽内容を院内や薬剤部内に還元し、医療の質向上や教育に活かす。

② 方法

腎臓病療養指導士認定のための講習会に望月優里、第14回日本腎臓病薬物療法学会・学術総会2020に北郷真史、第63回日本腎臓学会学術総会および第50回日本腎臓学会東部学術大会に後藤貴樹がそれぞれ参加し、新規認定に必要な単位及び更新に必要な単位を取得した。本年度はコロナウイルスの蔓延によりいずれもオンライン開催であった。

③成 果

講習会、各学会に参加することで、腎臓病療養指導士の新規申請、更新するための単位の一部を取得できた。薬剤師は薬物治療を注視しがちだが、それだけでは腎不全の治療はできず、日々の生活習慣や食事の面からもケアが必要であり、それらをトータルにケアすることが必要である。講習会、各学会に参加し講義等を聴講することで、指導を行うためには薬剤師・看護師・管理栄養士が協力してそれぞれの領域を一步踏み越えて他職種の必要性を指導することが重要であり、その役割を腎臓病療養指導士が担うことを再認識した。加えて、参加者は各学会で種々の発表を聴講することで、腎臓病に対する薬物治療の基本のブラッシュアップに加え、新たな知見を獲得することができた。参加者は得られた知識を日常臨床の場で活用することができるほか、さらに情報を院内や薬剤部内で共有することで、腎臓病治療の治療効果、医療の質の向上につながっていると考えられる。

現在、腎臓病療養指導士の資格取得者は、院内での業務の他、市民公開講座での講演など、多職種と共同して地域への腎臓病の啓蒙活動も実践している。今後も腎臓病療養指導士の資格維持、新規取得者を増やすことで、これらの活動を継続、発展させ、地域の腎臓病教育にも貢献していけると考える。